

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・十分なスペースが確保されている。 ・活動内容によっては、スペースを区切る等工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・毎月、勤務形態一覧表を作成し、それに基づいた職員配置で活動している。 ・利用者全員に目が届く人数だと思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・現在の利用者においては、適切な環境になっている。 ・必要に応じて歩行のサポートをすることで対応できている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・打ち合わせや反省には、すべての職員が参加し、しっかりと話し合う機会を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・昨年度より実施している。 ・今後も保護者の方の意向を踏まえて業務改善していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・昨年度より公開している。 ・今後も行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者の選定が難しい。 ・適任者がいた場合は、行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・月2回、様々なテーマで研修を行い、情報共有や共通意識に努めている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・年2回のアセスメントでニーズを聞き取り、保護者の意見を取り入れながら、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・標準化されたアセスメントツールは、ほぼ使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・基本、管理者が案を考え、必要に応じてチームで話し合いをし、プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・曜日ごとにプログラムを変えている。 ・楽しめるよう季節のイベントに合ったものを取り入れている。 ・同じことを繰り返し行い、徐々にできるように取り組んでいる内容もある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・休日には、平日には取り組むことができないような内容(買い物学習等)を考え、皆が楽しめるプログラムを設定し、支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別での取り組みと集団での取り組みの両方の利点を考え、計画を作成するよう努めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎回しっかり行い、支援内容や役割分担、注意事項について確認してから、支援に臨むことができている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎回活動後に必ず反省を行い、気付いた点等の情報共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎回活動後に経過記録表に記録をしっかりとっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・年に2回、個別面談を行い、ニーズの把握に努め、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・法人内の事業所を複数利用している子どもの場合は、情報を得た上で、最もふさわしい担当者が参加している。会議後の情報共有にも努めている。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・学校お迎え時の情報共有は適切に行うことができている。 年間計画等の情報共有については、学校によって差がある。 基本的には保護者から連絡をもらっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	・現在、該当する利用者はいない。 基本的に保護者と連絡を取り合っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・基本的に保護者からの情報提供で把握している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所から連絡があった場合、情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・専門機関の研修を代表者が受け、職員全体に向けて報告している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・現状、機会がない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		・法人内での代表者が自立支援協議会や事業所連絡会に出席している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・毎回送迎時に保護者への報告をしっかりと行い、共通理解に努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	・保護者が希望されるようなら行っていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・相談を受けた際は、お話をしっかりと聞き、関係者で話し合った上で、助言や支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在は行ってない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情があった場合は、迅速に対応し、関係者で話し合い、改善に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・広報を定期的に発行している。 ・ブログにて活動の様子を発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		・書類等の管理を徹底して行っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・必要に応じて文字や写真を示す等、配慮している。問題があれば職員で話し合い、改善していくよう努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・今後、地域に開かれた事業運営を目指していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルは策定しているが、保護者に周知できていない為、今後周知していく。 ・感染症対応マニュアルは、今後策定していく。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年に数回、時期を決め、震災と火災を想定した訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待に対する意識を高める為、研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・組織的に決定し、来年度より記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医師からの直接的な指示書はなく、保護者からの情報で対応している。情報については、すぐに見れるようまとめている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事例があった場合は、報告書を作成し、全体に周知している。今後更に、意識して行っていきたい。	